

平成29年度東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練

12月6日（水）警視庁東京湾岸警察署及び東京港管理事務所主催で、「東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練」を実施しましたので、ご報告いたします。

概要及び訓練内容は以下のとおりです。

- 訓練名 平成29年度東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練
- 日時 平成29年12月6日（水）
 - 第一部 通報訓練 13時30分から14時00分
 - 講話会 14時00分から14時30分
 - 第二部 実地訓練 14時45分から15時30分
- 場所 東京ヘリポート（スクエア・パターン・テスト場及びその周辺スポット）
- 主催 警視庁東京湾岸警察署、東京港管理事務所
- 協力 警視庁警備部、東京ヘリポート安全連絡協議会、
（一財）航空機安全運航支援センター、（株）エグゼクティブプロテクション
- 訓練内容 ①通報訓練
②不法侵入対応及びハイジャック防止訓練

第一部の通報訓練では、東京ヘリポート内で「不法侵入事案発生」との想定で、東京ヘリポート内の20事業者（隊）及び関係機関と電話による通報訓練を実施しました。



○ 関係機関への通報訓練

第二部のための会場設営及びリハーサルの合間を利用して、講話会を実施しました。

内容は「爆発物に対する対処について」と題して、警視庁警備部警備第二課の柴田警部から過去に使用された爆発物のレプリカの紹介や爆発物の威力を示す実演が行われました。最近では水筒や本などに偽装し、一見して爆発物と判らないものもあるため、とにかく「不審物を発見した場合は警察に通報してください。」とのことでした。



○ 不審物を発見したら警察に通報

第二部の実地訓練では、車両通用門から大型トレーラーが制限区域内に入場する際に不審者がまぎれで侵入し、逃走用の機体を管理者に要求するという想定で訓練を実施しました。

警備員の「不審者侵入」との通報により、即110番通報を行うとともに、無線を傍受した



○ 不審者が機体に近づき物色

巡回警備員が刺す叉を所持し、指揮者の指示に従い、不審者を遠巻きにして声掛けに専念し、警察の到着を待ちます。警備員から不審者が凶器と爆発物らしき物を所持しているとの連絡を受け、再度110番通報。最初に駆けつけた所轄署員から、爆発物処理班及び警察犬隊が東京ヘリポートに向かっていているとの報告を受けます。指揮者の許可により車両通用門から入場した所轄署員が説得を開始しますが、応じない不審者。

そこに到着した爆発物処理班と警察犬隊が入場し、不審者が逃走したところ、警察犬（チェイサー号）が追送し、不審者を確保。

不審者が逃走時に落とした不審物をX線検査した結果、爆発物と断定され、防爆防護服を着用した隊員がマジックハンドにより爆発物処理車に格納して実地訓練が終了しました。



○ 警備員の声掛け開始



○ チェイサー号が不審者をガブリ



○ 防爆防護服隊員がマジックハンドで爆発物を掴む



○ 爆発物を処理車に格納中

東京ヘリポートでは、訓練を通して、東京ヘリポート内事業者（隊）を始めとする関係機関との緊急事態発生時の連絡体制や、所轄警察署との連携を密にし、保安体制の向上を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてより一層ハイジャックやテロ犯罪の防止に努めていきたいと考えています。



○ 訓練参加者・見学者で集合写真

最後に、訓練に参加された皆様、機体を提供していただいた株式会社ディーエイチシー様に感謝申し上げます。

(東京港管理事務所港務課)